



## コンパニオンプランツ

Q. 家庭菜園をしています。コンパニオンプランツを取り入れると病害虫が少なくなるそうですが、具体的な組み合わせを教えてください。

A. お互いによい影響を与え合う植物同士をコンパニオンプランツ (Companion Plants ; お友達の植物) と呼んでいます。

### 《ポイント》

コンパニオンプランツの条件にはつぎの4点があります。

- ①養分の競合がない。②根の競合がない。
- ③日光の競合がない。
- ④害虫にたいする天敵を集める。

具体的に組み合わせの例をあげましょう。

#### 1. ホウレンソウ(アカザ科)+葉ネギ(ユリ科)

ホウレンソウの害虫は葉ネギを嫌い、葉ネギの害虫はホウレンソウを嫌うので害虫が近寄りません。また、葉ネギがホウレンソウの萎ちょう病を防ぐ効果があります。

#### 2. キャベツ(アブラナ科)+レタス(キク科)

ヨトウムシ、モンシロチョウ、コナガなどのキャベツの害虫は、レタスが嫌いなため近づきません。

#### 3. トマト(ナス科)+ニラ(ユリ科)

ニラの根に付く菌が、トマトの病原菌を抑え、萎ちょう病などを防ぎます。

#### 4. ナス(ナス科)+パセリー(セリ科)

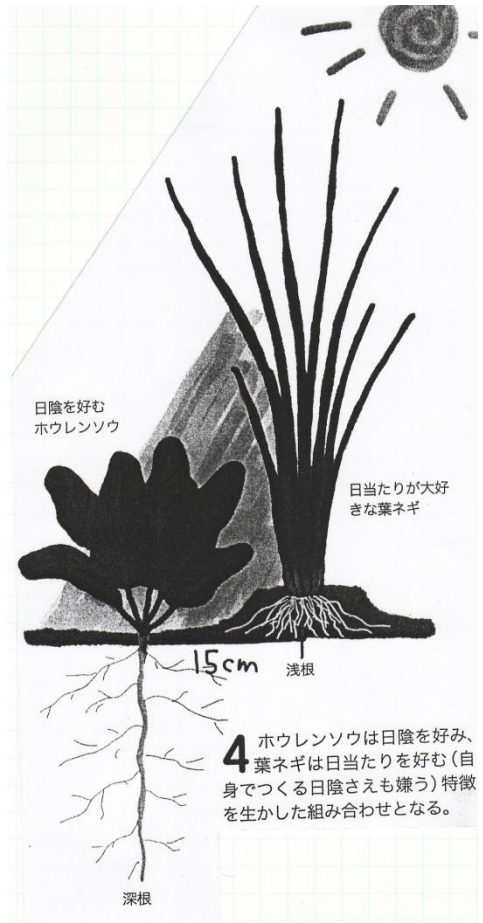
パセリーがナスの害虫を寄せ付けず、ナスがパセリーを食べるアゲハチョウを寄せ付けません。なお、ナスは深根、パセリーは浅根であり根域が競合しません。

#### 5. 夏まきダイコン(アブラナ科)+マリーゴールド(キク科)

マリーゴールドはコナガ、モンシロチョウ、ハムシを寄せ付けません。根こぶセンチュウも少なくなります。

#### 6. イチゴ(バラ科)+ペチュニア(ナス科)

ペチュニアに訪花昆虫が集まるので、イチゴの受粉も確実にになります。





## エリカの育て方

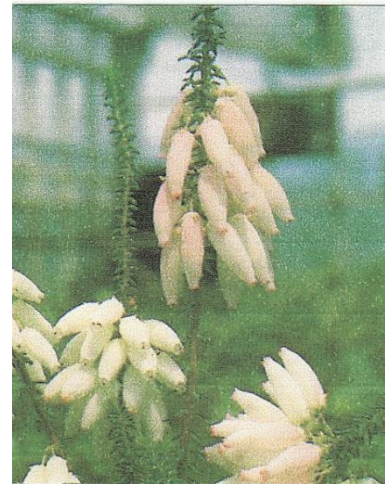
Q. 鉢植えのエリカを室内で育てていますが、花がしおれ、葉も落ちてきました。

また、花が咲き終わった後はどうすればよいのでしょうか。

A. 花がしおれ、葉が落ちるのは水切れかと思えます。花後は根詰まりさせないように、必ず植え替えをして、できるだけ涼しくしてやり夏を越させます。

《ポイント》

エリカは日光を好み、寒さには比較的強いのですが、夏の高温や多湿には弱く、冬の乾燥にも弱いという性質があります。



エリカ バウエラ

### 1. 冬の育て方

購入した開花株の鉢は、ガラス越しの日光が当たる窓際に置きます。

温度は5~8℃でよく、20℃は必要ありません。水を切らすとすぐにしおれてしまい、水をやってもなかなか回復しません。夏の高温時には、少し乾き気味にして過湿を避けます。

### 2. 夏越しの方法

市販の開花株はおそらく根が鉢の中でいっぱいになっているので、ほうっておくと根詰まりで枯れてしまいます。

そこで、4月に植え替えをします。根鉢の底部分と周囲の古土を崩し、長く伸びた根や傷んだ根は切り取ります。

同時に、枝も花のついた部分は切り戻します。

その後、一回り大きな鉢に、砂質土（鹿沼土小粒）にピートモスを3割加えた土で植え替えます。

植え替えが済んだ鉢は、しばらく半日陰の戸外に置きます。

真夏の日中は直射日光が当たらない半日陰で涼しく過ごさせます。花芽は剪定後に伸びた新梢の葉腋に着くので、夏以降の剪定は控えます。



ジャノメ エリカ